

地元の特産品である梨が、いま『赤星病』に悩まされています。

あか ほし びょう

梨 を赤星病から守りましょう!

原因は

『赤星病』とは、新築住宅地や庭づくりに観賞木として植えられる「カイツカイブキ」等の【ビャクシン類】が媒介する梨の病気です。赤星病菌が梨の葉や果実に感染することで、落葉や果実の品質低下等をまねく恐ろしい病気で梨栽培においては大敵の一つです。

※【ビャクシン類】が梨園から2km～3km圏内にあると、感染の確率が高くなります。

地域住民の皆様へお願いします

梨農家は開花から収穫までの間に病虫害防除を行い、樹・葉・果実等に被害を受けないよう細心の注意を払って栽培しています。農家の防除負担を少しでも軽減し、今後も産地を守っていくために、梨園の2km～3km圏内には、できるだけ【ビャクシン類】は植栽せず、他の樹種を植栽していただきますよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

主な【ビャクシン類】

「カイツカイブキ」



「ミヤマビャクシン」



「ハイビャクシン」



【その他のビャクシン類例】

・ビャクシン（別名：イブキ） ・タマイブキ ・クロイブキ ・タチビャクシン ・ネズ

「カイツカイブキ」に付着した赤星病菌



(4月上旬頃の様子)

梨の果実・葉に感染した赤星病



八女市・筑後市・広川町
JA ぶんか八女 園芸指導課
八女地域農業振興推進協議会 果樹部会